

官報

號外

昭和十二年三月二十五日

○第七十回貴族院議事速記録第二十二號

昭和十二年三月二十四日(水曜日)午前十時二十分開議

議事日程 第二十三號

昭和十二年三月二十四日

午前十時開議

第一 昭和十二年度一般會計歳出ノ財

源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 昭和七年法律第一號中改正法律

案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 昭和七年法律第十二號中改正法律

案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第四 日本銀行條例中改正法律案(政

府提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 日本銀行參與會法廢止法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第六 東京農業教育專門學校創設ニ伴

フ帝國大學特別會計及學校及圖書館

特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政

府提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權

ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權

ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル

者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法

律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第八 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマ

ス

(角倉書記官朗讀)

昨二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府

提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆

議院ニ通知セリ

郵便法中改正法律案

輸出補償法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル

兵役義務者及傷痍軍人待遇改善ノ請願外三

十一件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ

政府ニ送付セリ

同日朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員

會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ

如シ

委員長 子爵高倉 篤磨君

副委員長 男爵岩村 一木君

同日委員長ヨリ豫算委員第五分科擔當委員

高島順作君ヲ第一分科兼務委員ニ選定シタ

ル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ

ル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

昭和七年法律第十二號中改正法律案
日本銀行條例中改正法律案
日本銀行參與會法廢止法律案
東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大
學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關
涉ニ關スル法律案

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及
南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓
ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公
債發行ニ關スル法律案

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開
キマス、日程第一、昭和十二年度一般會計
歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル
法律案、日程第二、昭和七年法律第一號中
改正法律案、日程第三、昭和七年法律第十
二號中改正法律案、日程第四、日本銀行條例
中改正法律案、日程第五、日本銀行參與會
法廢止法律案、日程第六、東京農業教育專
門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校
及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、
日程第七、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權
ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃
至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付ス
ル公債發行ニ關スル法律案、是等ノ議案ヲ
一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイ
マセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス、結城大藏大臣
(左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經
サルモ參照ノ爲メ茲ニ載録ス以下
之ニ倣フ)

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充
ツル爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十二年三月二十三日
衆議院議長 富田幸次郎
貴族院議長 公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十二年三月二十三日
衆議院議長 富田幸次郎
貴族院議長 公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十二年三月二十三日
衆議院議長 富田幸次郎
貴族院議長 公爵近衛文麿殿

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充
ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起
債シ得ル金額ノ外四億八千七百五十萬
圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲
スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲
他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭
和十三年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借
入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ
依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制
限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行
價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合
ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發
行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十二年三月二十三日
衆議院議長 富田幸次郎
貴族院議長 公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十二年三月二十三日
衆議院議長 富田幸次郎
貴族院議長 公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

「九億九千四百五十萬圓ヲ十二億六千四十萬圓ニ改ム」

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和七年法律第一號ハ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ナリ

昭和七年法律第十二號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

昭和七年法律第十二號中改正法律案

昭和七年法律第十二號中左ノ通改正ス

第三項中「拂出シノ日ヨリ五年以内」ヲ

「昭和二十一年度末迄」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和七年法律第十二號ハ造幣局資金拂出ニ關スル法律ナリ

日本銀行條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

日本銀行條例中改正法律案

日本銀行條例中左ノ通改正ス

第十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

日本銀行ハ其業務ニ參與スル參與理事七人以内ヲ置クヘシ

第十九條第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但大藏大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此限ニ在ラス

同條ニ左ノ二項ヲ加フ

參與理事ハ金融業若ハ産業ニ從事シ又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ株主總會ニ

於テ選舉シ大藏大臣之ヲ命シ其任期ヲ二年トス

參與理事ハ任期中他ノ銀行又ハ會社等ノ常務ニ從事セントスルトキハ大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

日本銀行參與會法廢止法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

日本銀行參與會法廢止法律案

日本銀行參與會法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

昭和十一年度末現在ノ東京帝國大學資金ニシテ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ノ用ニ供スルモノ及昭和十一年度

東京帝國大學ノ歳入殘餘ニシテ同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジ

タルモノハ之ヲ學校及圖書館資金ニ編入スベシ

前項ノ規定ニ依リ編入シタル資金ニシテ歳入殘餘ヨリ成リタルモノハ之ヲ東京農業教育專門學校ノ資金トシテ區分整理スベシ

昭和十一年度帝國大學特別會計歳入歳出豫算中翌年度ニ繰越ヲ要スルモノニシテ

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關スルモノハ之ヲ學校及圖書館特別會計ニ繰越使用スベシ

附則

本法ハ昭和十二年度ヨリ之ヲ施行ス

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十二年三月二十三日

衆議院議長 富田幸次郎

貴族院議長公爵近衛文麿殿

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官又ハ退職シタル者、休職ヲ命ゼラレタル者、解職又ハ解備セラレタル者等ニ特別ノ賜金又ハ手當金トシテ交付スル爲政府ハ額面四百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣(結城豊太郎君) 只今議題トナリマシタ七案中、先ヅ昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、昭和十二年度一般會計ニ於キマシテ、既ニ成立致シテ居リマスル公債法ニ依リ發行スル公債金額竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行スル公債金額ノ外ニ、歳入ノ不足ヲ補填スル爲メ四億八千七百五十萬圓ノ公債發行ヲ必要トスルノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ別ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアルノデアリマス、尙昭和十二年度ノ歳出ニ於キマシテモ、其ノ中若干ノ金額ハ例年ノ如ク、翌年度ニ繰越サレル結果ニナルデアラウト存ゼラレマスルガ、其ノ繰越額ノ財源ハ必ズシモ十二年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌ爲メ、翌年度ニ於テ發行シ得ルコトト爲スヲ適當ト認ムルノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、第二ニ昭和七年法律第一號中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ル第六十一回、第六十二回、第六十四回、第六十五回、第六十七回及第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ

經、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行スルコトヲ得ル法律ノ制定ヲ見マシテ、之ニ依ッテ昭和十一年度迄ノ經費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスルガ、昭和十二年度分ノ經費トシテ更ニ二億八千七百七十餘萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、右ノ中特別會計ノ分ハ全部普通財源ヲ以テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キマシテハ、滿洲國國防費分擔金受入等ニ相當スル金額ヲ加減致シマシタル二億六千五百八十餘萬圓ハ、今日ノ財政情況竝ニ本經費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲メ、現行滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル法律ニ依ル發行限度ヲ改正增加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、第三ニ昭和七年法律第十二號中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、本法律ノ現行規定ハ昭和六年以來ノ滿洲事變ノ影響ニ因リマシテ、事業ノ經營ガ甚シク困難トナリ、又ハ不能ニ陥リマシタル支那在留邦人ニ對シ、其ノ事業復興ノ資金ヲ貸付クル爲メ、造幣局資金トシテ保有致シマシタル銀地金ノ拂出ヲ認ムルト共ニ、其拂出ニ係ル銀地金ハ之ガ拂出ノ日ヨリ五箇年以内ニ、一般會計ノ負擔ニ於テ之ヲ補填スベキコトニ相成ッテ居リマスルガ、一般會計ノ歲計ノ現狀ニ鑑ミマシテ、之ガ補填ヲ貸付銀ガ償還ニナリマスル昭和二十二年度末マデ延期シ得ルヤウ改正スルヲ適當ト認メマシテ、本改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ日本銀行條例中改正法律案、日本銀行參與會法廢止法律案ニ付キ御説明ヲ申上ゲマス、日本銀行ノ機能ヲ一層發揚セシムル爲メ、日本銀行

ニ新タニ參與理事ヲ置クコトト致シマシテ、又現行ノ規定デハ理事及監事ハ絕對的ニ兼職ヲ禁ゼラレテ居リマスノデ、不便ヲ感ズル場合ガアリマスルカラ、大藏大臣ノ許可ヲ受ケマスレバ、他ノ銀行會社等ノ役員ヲ兼ネ得ルコトニ改メ、同時ニ日本銀行參與會法ハ之ヲ廢止スルヲ適當ト認メマシテ、本改正法律案及廢止法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、農業教育ノ普及及徹底ヲ圖ル爲メ、現在ノ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ハ之ヲ昭和十二年度カラ獨立セシメマシテ、東京農業教育專門學校ト致シマスル關係上、昭和十一年度末現在ノ東京帝國大學資金ノ中、東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ノ用ニ供シマス、此ノ昭和十一年度東京帝國大學ノ歲入殘餘デアリマシテ、同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジマシタルモノハ、之ヲ學校及圖書館資金ニ編入スル等ノ規定ヲ設クル必要ガアルノデアリマス、仍テ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、最後ニ帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒマシテ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒマシテ、滿洲ニ在勤シテ居リマスル所ノ外務省及關東局關係ノ官吏職員ノ中デ、滿洲國ニ引繼ガル、者ガ相當多數ニ上リマスルガ、是等ノ者ハ是マデ帝國ノ官吏其ノ他ノ職員トシテ忠實

ニ勤績シテ參ツクノデアリマスルノデ、其ノ年來ノ勤勞ニ報ユル爲メニ適當ノ待遇ヲ與ヘルコトハ、此ノ際必要ノコトデアルト考ヘマシテ、ソレノ特別ノ賜金又ハ手當ヲ支給スルコトノ計畫ヲ致シマシタ、而シテ是等特別ノ賜金、又ハ手當ハ公債ヲ以テ交付スル必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上七案ニ付キマシテハ何卒御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛文麿君) 別ニ御質疑ガナケレバ、以上七案ノ審議ヲ付託スベキ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(角倉書記官朗讀)

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案外六件特別委員(三月二十四日議長選定)

侯爵小村 捷治君 松浦鎮次郎君
子爵綾小路 護君 男爵今園 國貞君
堀切善次郎君 男爵大森 住一君
加藤政之助君 仲田傳之助君
宇野 勇作君

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第八、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長報告

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

鐵道敷設法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十二年三月二十二日
委員長 公爵岩倉 具榮
貴族院議長公爵近衛文麿殿

(公爵岩倉具榮君演壇ニ登ル)

○公爵岩倉具榮君 只今議題トナリマシタ鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ニ於ケル審議ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、今回ノ改正ハ鐵道敷設法別表第五十二號ニ、神奈川縣櫻木町ヨリ同縣北鎌倉ニ至ル鐵道ヲ追加致シマシテ、昭和十二年度ヨリ工事ニ著手セムトスルモノデアリマス、本線ハ東京ヨリ櫻木町ニ至リマスル電車線路ヲ延長シテ橫濱市ノ中樞地帯ヲ過ギ、根岸、磯子ノ住宅地及工業地域ヲ經、橫須賀線ノ北鎌倉驛ニ接續シ、橫須賀ニ直通スル鐵道デアリマシテ、此ノ鐵道ノ開設ニ依リ地方交通ノ便ヲ開キ、地方開發ニ資スルト共ニ、東海道本線ノ橫濱、大船間ニ於ケル輸送ヲ緩和セムトスルモノデアリマシテ、本案ニ對シ委員會ニ於キマシテハ、慎重審議ノ結果本案ヲ妥當ナル改正ト認メマシテ、政府ノ提案ニ同意ヲ表シマシタ、討論ニ於テハ、全部ニ付テノ贊成意見ノ發表ガアリマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、終リニ附加ヘテ置キマスガ、本案ノ審議中、鐵道敷設法ノ再檢討竝ニ全般的鐵道敷設法改正案ニ關シマシテ、特別委員ト鐵道大臣トノ間ニ質疑ノ應答ガゴザイマシタ、此ノ點ハ省略致シマスガ、尙詳シイコトハ速記録ヲ御覽願ヒタイト思ヒマス、以上御報告申上ゲマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案全部、委員長ノ報告通りテ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案全部第二讀會ノ決議通りテ御異議ゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程ハ是ニテ全部終了致シマシタ、次會ノ日程ハ決定次第、彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會致シマス

午前十時三十八分散會